

<p>請願番号</p>	<p>請願第37号</p>	<p>受理年月日</p>	<p>平成25年11月27日</p>
<p>請願の件名</p>	<p>「建設産業再生のための技能労働者（鳶工・型枠大工・鉄筋工・左官工等）の確保・育成支援」を求める請願</p> <p><b>【請願の趣旨】</b>          県において建設産業再生のための技能労働者（鳶工・型枠大工・鉄筋工・左官工等）の確保・育成に向けた下記の取組みを強化していただきますよう請願いたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 工業高校等に熟練技能士を派遣し、技能の紹介や技能指導を行う「高校生ものづくり人材確保促進事業」等において、技能業種を拡充するなど、広く建設産業技能職種（鳶工・型枠大工・鉄筋工・左官工等）への関心を高めること。</li> <li>2. 事業主等が行う離職者等を対象とした職業訓練事業において建設産業技能業種の取組みを支援すること。</li> </ol> <p><b>【請願の理由】</b>          バブル崩壊後、我々建設産業の元請・下請とも厳しい時代に入り、更に追い打ちをかける平成20年のリーマンショックの影響から抜け出せないまま、今日に至っています。          この10年県内では、業務の縮小・廃業・倒産が相次ぎましたが、その原因は低価格受注による低収入や高齢化等で技能労働者が離職したことによるものと、私共は考えております。          平成23年春以降、工事量の回復に伴い、宮崎では幾分景気が上向いておりますが、下請業者は現在も単価暴落の後遺症を負っている状態であり、多くの専門業者が依然として赤字決算のために人材育成ができない状況です。          建設技能労働者不足による作業所での工事中断・工事遅延を避けるために、高い単価（高賃金）等で建設技能労働者を確保して工事を消化する元請業者もみられます。これも建設技能労働者不足から来る問題です。          そこで、我々は、建設技能労働者の確保を図るために、若者が「ものづくり」に関心をもってくれるような施工能力のある優良企業として、直雇化の推進や福利厚生充実等の事項に対して積極的に取り組むことが、今後この業界の再生には不可欠であると考えております。</p>		

	<p>我々は、自らの努力では解決できない幾つかの課題を抱えております。これらの課題の中で、まず「建設産業再生のための建設技能労働者の確保・育成支援」を強化していただきますよう要望いたします。</p>
紹介議員	<p>横田 照夫      星原 透      十屋 幸平      松村 悟郎  後藤 哲朗      渡辺 創      函師 博規      新見 昌安</p>
摘要	